

令和5（2023）年度
事業報告書

2023年4月 1日から

2024年3月31日まで

学校法人 池田五月山教会学園
池田五月山教会幼稚園

1. 法人の概要

名 称 学校法人 池田五月山教会学園 (昭和56年1月30日法人設立)

代表者 理事長 木下 忍

住 所 池田市五月丘2丁目7番19号

電 話 072-751-5130

FAX 072-751-1460

設置する学校

所在地 池田市五月丘2丁目7番19号

名 称 池田五月山教会幼稚園

役 員 理 事 6名 監 事 2名

評議員 13名

理事会 3回開催

評議員会 3回開催

職 員 20名 (内常勤職員9名)

2. 事業の概要

(池田五月山教会幼稚園)

《教育方針》

キリスト教の理念に基づき、自己を愛し、他者を愛する自律した豊かな人間性を
培うことを目指します

《教育内容》

一人ひとりの個性を尊重し、発達に応じた適切な環境を整え、自由活動を通じて
自ら心を動かし、考え、探究し、判断できる子どもを育てます。そして、想像力、
創造性を培うことを目指しています。

	*満3歳児	3歳児	4歳児	5歳児	*クラス数計	園児数 合計
	園児数	園児数	園児数	園児数		
利用定員	*	*	*	*	3	90
2021年度	—	21	35	20	3	76
2022年度	—	30	21	35	3	86
2023年度	5	21	30	20	3	76

*2023年10月29日時点の学年別園児数

*クラス数は異年齢編成の3クラス

*満3歳児は2023年度から募集を開始した。

《保育時間》

月～金曜日 午前9時～午後2時 (年長児は午後2時半)

ただし、水曜日のみ全学年正午まで、

土曜日 休園

《納付金》

保育料	無償
教育充実費	2,000 円／月
誕生会費	500 円／月
アルバム代	600 円／月
父母の会費	800 円／月

《入園時の費用》

入園検定料	3,000 円
入園事務手数料	20,000 円 (2 学期から募集の満 3 歳児は 30,000 円)

《早朝保育》

月～金曜日	午前 8 時～午前 9 時	200 円／回
-------	---------------	---------

《預り保育》

月～金曜日	保育終了後～午後 5 時	200 円／時間
	午後 5 時～午後 6 時	200 円／回

夏冬春休み中の預り保育 午前 8 時～午後 6 時

(利用料金は通常の預り保育とは異なります)

《行事実施状況》

遠足 (春・秋)、親子の日、プール遊び、お泊まり保育、運動会、クリスマス礼拝・祝会、おもちゃつき、耐寒遠足、お別れ会、卒園式

《施設関係》

敷地面積	1, 9 2 5 m ²	(園外園地 7 8 7 m ² を含む)
園庭面積	7 1 4 m ²	
園舎延べ床面積	3 6 2 m ²	

《設備関係》

入口門扉の更新、南別館の取得とリフォーム工事、防犯カメラの新設、折り畳みテーブルの取得、ピアノの調律、消防点検、植木剪定

《借入金関係》

私学振興事業団から 3 8, 0 0 0 千円を借入れ

《長期計画》

園舎の老朽化が進み雨漏りや床の傷みが目立つようになったので、5 年以内に園舎建替えの計画を具体化する。

《事業報告》

令和 5 (2023) 年度の事業は、少子化の影響によって 3 歳児の入園者数が 21 名と少なく、前年度に比べて 15 名減少となり、厳しい予算での運営となった。

園児数の減少への対策として、満 3 歳児の保育を始めることを計画して 2 学期から満 3 歳児 6 人の保育を始めた。現場の先生方の努力によって大きな混乱もなく保育を行うことができ、施設型給付費の収入増に繋がった。

また、コロナによる集会の制限が緩和されて、お泊り保育、運動会、クリスマスなどの諸行事を教職員と保護者の協力によって計画通りに実施することができたこと

に感謝している。

施設関係では、礼拝堂南側にある隣家から土地売却の話が前年にあり、将来の幼稚園の事業のためにどうしても入手すべき物件だと判断をして購入交渉を進めた。資金面での問題があったが、私学振興事業団からの融資を受けることができ、7月末にその土地を取得した。

また、池田五月山教会において礼拝堂の椅子を個人椅子に本年度更新することが決定したので、幼稚園から献金を行いその計画の実現に協力した。その結果、幼稚園にとってもクリスマスや卒園式などの行事でスペースの確保や教員の負担軽減ができ、個人椅子によるメリットを実感した。

令和5年度は以上のように多額の支出を伴う事業を進めたが、施設型給付費の収入増と人件費の抑制によって、事業活動収支計算書の基本金組入前当年度収支差額が10,800千円強となり、予算に対して大きく改善が図られた。

次に、事業計画で掲げた以下6項目について達成状況を報告する。

- ① 将来の施設拡充のため、第二運動場北側にある宅地の買収を実現させる。
そのために私学振興・共済事業団からの融資による資金調達を進める。
⇒計画通り実現できた。私学振興事業団の融資については、日銀のマイナス金利政策見直し前のタイミングで、良い条件で借り入れることができた。
- ② 新たに購入する用地の活用も含めて、園舎更新の中期的計画を立案する。
⇒前年度は具体化できず、次年度継続して立案していく。
- ③ 当法人への寄付者に所得税の控除ができる「特定公益増進法人」の申請を大阪府に行い、寄付金収入の増額を図る。
⇒前年度は準備が間に合わなかったが、創立60周年の次年度から活動を始める。
- ④ 今後更に少子化が進んでいく中、新入園児を確保するために、今年度中に満3歳児の保育ができるように試行を始める。
⇒上述の通り実現できた。
- ⑤ 未就園児クラス「つぼみグループ」や、「あっぷっぷ」「ぽっかぽか」の子育て支援活動を通じて、近隣子育て所帯に当幼稚園の存在を知ってもらえるように活動する。
⇒次年度から南別館で子育て支援の「ぽっかぽか」の活動に利用を始める。
- ⑥ 働きがいのある職場となるように、教職員の処遇改善を継続して進め、また業務の見直しと改善によって労働時間の短縮を図る。
⇒処遇改善を継続して進めた。公務員の給与が人事院勧告によって大幅に改善されたので、次年度に給与表の改定を行って大幅な給与改善を実施する。

3. 財務状況

別紙参照。

以上